

# 夢に向かって生きる



大和北小だより  
R5. 8. 28



明治

あと七カ月で、  
大和北小学校は  
一五〇年の歴史に  
幕を閉じます



昭和



大正



平成



子どもの頃の学校での思い出、どんなことが  
思い浮かびますか? 「学校」が好きだった人も、  
きらいだった人もいると思いますが...

「学校」って、いつの時代も、その地域に生きる  
子どもたちや親や家族、地域住民にとって“居  
場所”のひとつであり、その人にとって、人との  
“つながり”が思い出になっている“ふるさと”の  
ようなものでもあるのではないのでしょうか。

令和

7月18日(火) 記念撮影



夏休みを迎える前、7月18日(火)

全校の児童と職員で、ひまわり畑で記念撮影を行いました。

「人と人とのつながり」を大切にしながら明るく元気な町づくりをめざす大和地域協議会の取組に賛同し、児童と共につくったひまわり畑です。昔も今も、学校はずっと地域と共に歩んでいます。

## 9月23日(土)は“大和北小学校の最後の運動会” 午後は“閉校記念イベント”

児童が掲げる  
スローガンは

**笑顔いっぱいの運動会にしよう**

**最後までやりきる 力を合わせる 応援の声**

“コロナ禍明け”の初めての運動会、そして“大和北小学校としての最後の運動会”になります。

子どもたちは、「声を出すこと」や「人と人との距離をとること」などの制限に縛られることなく、他者と関わることが出来ます。でも、この4年間、そんな経験をしたことがない子たちですから、戸惑うこともあるでしょう。でも、この取組の中で、“自分”は「こんなふうになりたいな」「やっぱりこうしよう」など 願いや決意を抱いて、仲間と話し合ったり、声をかけ合ったり、時には思いが食い違って揉めたりしながらも、「みんなが笑顔になれる」ひと時を生み出していこうとしていきます。それは、子どもたちにとって何よりの“学び”であり、大切な“人生経験”であると考えます。

令和5年8月18日(金)、かつて、この学校を卒業した大人たちや、地域を盛り上げたいと願う大人たちが、4年ぶりの「駅前踊り」を開催しました。いろいろ大変なこともあったでしょうが、当日は、たくさんの人たちの笑顔があふれるひと時が生まれました。



**地域を盛り上げよう、人の“つながり”や“笑顔”を生み出そうとする営みは尊いです。**

大人たちの姿と、これから「自分たちで運動会をつくろう」と取り組む児童の姿が重なります。運動会の取組を通した子どもたちの成長が楽しみです。地域社会の未来につながる“宝”です。

ご家庭での支援、応援 よろしくお祈りします！